

整理番号	HT29051	分野	工学	キーワード	バーチャルリアリティー
------	---------	----	----	-------	-------------

研究機関名	東北公益文科大学				
プログラム名	民俗芸能の踊りをバーチャル体験できる CG アニメーションを作ってみよう				
先生(代表者)	玉本 英夫(たまもと ひでお)公益学部・特別招聘研究員				
自己紹介	<p>1976年に大学院博士課程を修了しました。すぐに大学の教員になり、コンピュータのハードウェアの研究を行ってきました。1998年頃、秋田の劇団の人との出会いがきっかけとなり、民俗芸能の踊りの伝承のための研究をはじめました。これがライフワークになりました。</p> <p>1996年にバルセロナの大学に10か月ほど滞在しました。おいしいものを食べたりするのが大好きで、このときを思い出しながら、よく家や研究室でパエリアを作り、今は生ハム作りに挑戦しています。</p>				
開催日時・募集対象	平成29年 9月16日(土)	受講対象者	高校生	募集人数	
集合場所・時間	東北公益文科大学 酒田キャンパス 公益ギャラリー	(集合時間)	9:40		
開催会場	東北公益文科大学 酒田キャンパス 住所: 〒998-8580 山形県酒田市飯森山三丁目5番地の1 アクセスマップ URL: http://www.koeki-u.ac.jp/about_us/access.html				
内 容					
<p>民俗芸能の踊り(踊り)は、貴重な文化財です。踊りは、それが演じられている所(舞台)で観たり踊ったりしながら、伝承されていきます。少子高齢化、地域の過疎化に伴い、この方法での伝承が難しくなっています。そこで、私たちは、バーチャルリアリティ技術(VR)を使い、いつでもどこでも、あたかも舞台に行き、踊りを観たり演じたりする体験ができる仕組みを作っています。舞台に行けなくても、舞台がなくなっても、熟練者がいなくても踊りを体験できます。インターネット上にみんなでこの仕組みを作っていくことによって、VRを使った新しい伝承方法を提案したいと思っています。</p> <p>このプログラムでは、モーションキャプチャと CG アニメーション技術を使って、バーチャルに踊りを観たり演じたりできる CG アニメーションを作ります。そして、民俗芸能の踊りの新しい伝承方法を体験して下さい。</p>					
スケジュール				持 ち 物	
9:40-10:00 受付開始(集合場所:酒田キャンパス公益ギャラリー)				筆記用具	
10:00-10:20 開講式(あいさつ、オリエンテーション、科研費の説明)					



(a) 盆踊り



(b) 能

10:20-11:30 講義「民俗芸能の踊りをどのようにして伝承していくか(講師:玉本英夫)」、デモを行いながら講義を進めます、休憩(11:05-11:10)、質疑応答(11:10-11:30)を含む	特記事項
11:30-12:00 キャンパスツアー	
12:00-13:00 昼食・休憩(カフェテリア)	
13:00-14:40 実習①「モーションキャプチャを用いた踊りの動きの計測」、休憩(13:45-13:55)、「モーションデータの変換作業」	
14:40-15:00 クッキータイム・ディスカッション	
15:00-16:10 実習②「バーチャル体験のできる CG アニメーションの制作」、休憩(14:45-15:55)を含む	
16:10-16:40 CG アニメーションの発表会	
16:40-17:00 修了式(アンケート記入、未来博士号の授与)	
17:00 終了・解散	

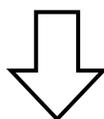
《お問合せ・お申込先》

所属・氏名：	東北公益文科大学・大学戦略推進室 浦山 恭子(うらやま きょうこ)
住所：	〒998-8580 山形県酒田市飯森山三丁目5番地の1
TEL 番号：	0234-41-1119
FAX 番号：	0234-41-1133
E-mail：	senryaku@koeki-u.ac.jp
申込締切日：	平成29年 9月 6日(水)

※当プログラムは先着順にて受付を行います。

《プログラムと関係する先生(代表者)の科研費》

研究代表者	研究期間	研究種目	課題番号	研究課題名
玉本 英夫	H27-29	基盤研究(C)	15K00283	バーチャルリアリティ技術を用いた民俗芸能の踊りの伝承環境の構築に関する研究



★この科研費について、さらに詳しく知りたい方は、下記をクリック！

<http://kaken.nii.ac.jp/>

※国立情報学研究所の科研費データベースへリンクします。